

# 議会報告会 会場報告書

担当班： 第 2 班 班代表者：稲山 悟

概 要		
地区名 : 城東地区 日時 : 令和 7 年 1 1 月 1 0 日 (月) 場所 : 城東公民館 参加人数 : 1 4 人(男 1 3 人・女 1 人)	(1) 開会あいさつ : 稲山 悟 (2) 質疑応答 : 小島 政行 (3) 意見・提言等 : 桐村 裕一 降矢 杏奈 岡 圭子 (4) 閉会あいさつ : 岡 圭子	挨拶・総括 : 稲山 悟 司会進行 : 堀毛 宏章 記録・受付 : 小島 政行 降矢 杏奈 桐村 裕一 会場 (マイク) : 岡 圭子

## 【主な質疑】

質疑・意見 (第一部 議会報告について)	回 答
道の駅こんだ温泉ぬくもりの郷について、赤字が出たら行政が税金から補填するのか。	今回は、道の駅を設置するための名称変更等の条例改正であり、経営状況についての説明はない。今後、執行部から説明があれば情報提供をさせていただきます。

# 議会報告会 会場報告書 2部 『自治会・まちづくり協議会の現在・過去・未来～持続可能な活動に向けて～』

城東地区 2班 班代表者：稲山 悟

## A 参加者からの意見や課題

- ・自治会の役員が固定化・高齢化し、担い手が不足している
- ・自治会役員の負担が大きい
- ・市から自治会長への役員要請や会議の案内が多い
- ・自治会やまちづくり協議会の事業が多様化している
- ・少子高齢化している
- ・コロナ禍以降、事業が縮小、マンネリ化している
- ・定例集会や活動への参加人数が減少している
- ・真夏日の増加により行事の参加者が減少している
- ・ほかの地域から移住された方に地域行事に参加してもらえない
- ・高齢化し、草刈りが1日で終わらない
- ・交通が不便である
- ・交通弱者が増えている
- ・広報紙が多く、右綴じ、左綴じがあり、綴りにくい
- ・自治会の統合はできないのか

## B 参加者からの対策や解決するために必要なこと

- ・LINEなどのデジタルツールを活用し、連絡・情報共有のスピードと効率を向上させる
- ・酷暑対策として、夏の行事の日程・時間を変更する、または開催時期を再検討する
- ・市外に住む家族（若者・子ども世代）の帰省を促し、地域の行事への参加機会を創出する
- ・まちづくり協議会の周知（何をするのか分からない人が多い）
- ・顔を合わす機会を定期的につくる
- ・役員の負担が多すぎるので、外部のコンサルタントによる業務改善のアドバイスが必要
- ・月1回、カフェの開催を継続していく
- ・新城東トンネルなど道路の整備が必要



### 【考察】参加者の意見から見えてくるもの

- ・高齢者や子育て世代が参加しやすいよう、活動の時間や場所を工夫しながら、活動の目的や意味をみんなで改めて考え、地域全体で共有する場をつくる。
- ・コロナ禍以降、自治会活動が縮小し、自治会の魅力が薄れており、新しい住民が参加しづらくなっている。住民の声を活かした企画や若者・子育て世代が楽しめるイベントの工夫が必要になってきている。
- ・役員の高齢化や固定化、負担増、運営方法といった課題を踏まえ、若手や移住者の参加促進、会議や事業の見直し、デジタルツールの活用などによる効率的な運営への転換が必要とされている。
- ・後川地区は公共交通が特に不便であり、高齢化の進行に伴い、さらなる公共交通の充実に加え、新城東トンネル整備への期待や道路整備の要望が強い。